



まちの駅ニュース

人と人の出会いと交流をサポートする
まちの情報発信基地

1. 第10回まちの駅九州沖縄会議 in かごしま南薩大会

第 10 回まちの駅九州沖縄会議 in かごしま南薩摩大会は、平成 30 年 9 月 14 日～15 日の日程で開催。九州各地から総勢 80 名が参集し、初日は枕崎市の薩摩酒造・明治蔵「白波の駅」でフォーラムが行われました。

前半の分科会は枕崎市内の視察。薩摩酒造で焼酎の仕込み体験、鯉節加工工場の見学、枕崎漁協の超低温冷凍庫では息も凍る氷点下 50℃の世界を体験（写真上）、お魚センターの駅で鯉節を使った上手な出汁の取り方講習、等々。

明治蔵に戻ってフォーラムの部では、前田祝成枕崎市長、大茂健二郎枕崎商工会議所会頭からご挨拶をいただきました。基調講演は、鹿児島島のまちの駅実証実験時からの応援者でもある東川隆太郎さんが「九州各地と西郷さんとの繋がり」について。毎度ながらの隆太郎節は、NHK 大河ドラマ「西郷どん」の裏話も交えて、面白おかしい話でした。最後は地域交流センター九州の今泉重敏さんが総括。

交流会のオープニングセレモニーは「火の神太鼓」による演奏。小中高生メンバーが軽快な和太鼓の響きで会場の雰囲気を一変させる力強い演奏でした。その後、SKA の駅の「BON DX」によるスカライブ。スカとはレゲエのもとになった音楽です。アンコール曲では、参加者全員で「上を向いて歩こう」を合唱しました。

焼酎の他、サツマイモを原料にしたクラフトビールで乾杯。ぎょうざの駅「二見屋商店」の餃子、枕崎さつまあげの駅「松野下蒲鉾」のさつまあげ、味の駅「一福」の船人めしの差し入れて、美味しさも嬉しさも百倍の気分。最後に「来年は家具・建具のまち、インテリア産業のまち、福岡県大川市でお会いしましょう」との言葉を残してお開きとなりました。次回も楽しみです。



2. 祝 まちの駅ネットワークかぬま「第 38 回日本旅のペンクラブ賞」を受賞

まちの駅ネットワークかぬまが、「第 38 回日本旅のペンクラブ賞」を受賞しました。「日本旅のペンクラブ賞」は、旅の文化の向上に寄与した団体、個人、行政機関等に贈られるものです。まちの駅が街角の観光案内所&休憩所を提供して、旅人の便宜を図っていることが、旅の文化向上として評価されました。嬉しいことです。

5 月 16 日（水）16 時から東京の「椿山荘」で表彰式が行われ、鹿沼市の佐藤信市長、鹿沼商工会議所の木村剛考会頭、まちの駅 NW かぬまの小暮真由美会長ほか、鹿沼市からも多数参加し、鹿沼市及びまちの駅をしっかりとアピール。

その後の懇親会では、市内にまちの駅が 102 駅あることを PR するパフォーマンスを鹿沼メンバーが披露、笑いを誘う芸達者な一面も見せてくれました。



3. オールにいがたまちの駅交流会

平成 30 年 9 月 20 日、道の駅パティオにいがたで「オールにいがたまちの駅交流会」が開催され、新潟県内のまちの駅仲間が集いました。最初に市民グループ「なびらーず」のガイドによるまち歩き。北越戊辰戦争の激戦地となった今町地区、シオラマで事前講習を受けてから街中を散策しました。舟運で栄えた今町は交通の要衝ゆえに戦いの場となり、一進一退の攻防の末、長岡藩の河井継之助らが新政府軍を退散させた後に火を放ち、今町は焼け野原と化したそうです。わずかに残る戦争の傷跡が、その悲惨さを静かに訴えておりました。

パティオにいがたに戻ってからは、久住時男市長も交えての大交流会。越後長岡まちの駅原田敏会長が、前年に鹿沼市を訪問・交流して大いに刺激を受けたことを報告し、まちの駅同士の交流の輪を広げ主体的に活動しようと呼び掛けました。全国に 1600 人のまちの駅仲間がいるのですから、いい意味で利用し合ってください。



4. 自転車遠足“まちの駅巡り”in かぬま

9月23日(日)、江東自転車エコライフの会の方々による栃木県鹿沼市の自転車遠足“まちの駅巡り”に同行しました。参加者8名は北千住から東武鉄道「特急きぬ」で鹿沼に向かいました。新鹿沼駅の近くの自転車NPOでレンタサイクルを借り、まず最初はランチの駅「喜楽食堂」で昼食。レストランがまちの駅になっており手軽な値段でおいしく満足感のあるランチが頂け、地元の方に愛される昔ながらの洋食屋さんでした。鹿沼市副市長の福田義一さんにも同席して頂き、鹿沼の概要について話を聞きました。

その後「今宮神社」、彫刻屋台の駅「屋台のまち中央公園」へ行きました。今宮神社では毎年9月に鹿沼伝統の彫刻屋台が繰り出される「鹿沼秋まつり」が行われます。その祭りはユネスコ無形文化遺産、国指定重要無形民俗文化財に指定されています。屋台のまち中央公園資料館内で鹿沼秋まつりに関する説明をガイドの方から聞きました。展示されている屋台の大きさの迫力と細かい彫刻の中に描かれる物語や伝統の技術に感動し、実際の秋祭りも鑑賞してみたいと感じました。

少し自転車を走らせ「生子(いきこ)神社」へと向かいました。ここでは年に一度の伝統行事である「泣き相撲」を見ました。子どもの泣き声や楽しんでいる声、そして沢山の屋台で賑わっていました。この日は鹿沼以外の各地からも子どもを連れてやってくるそうで、ここでも鹿沼の伝統的な歴史を大切にしている心というものを感じました。

その後は、私の駅「私の美術館」へ。オーナーである小林一行さんが自宅を美術館として自らの作品を展示しています。小林さんは自分の人生を絵のモチーフにしており、「社会を動かすことは出来ないけど、自分が小さい頃からの夢である美術館や好きな絵を通して生まれ育った所を文化的に豊かにしたい」「会話をしてくれる人によって自分の作品が生まれる」など、幾つもの印象深い話がありました。次にまちの駅「新・鹿沼宿」を訪問。観光交流拠点でありキーステーションとして鹿沼の食材、伝統工芸品を取り扱っています。トイレは中から日本庭園が見える工夫を凝らしていて本当に綺麗でした。最後は、みっちゃんの駅「みっちゃん蕎麦」にて郷土食である二蕎麦、鹿沼こんにゃく、そば饅頭など鹿沼の食材を堪能してまちの駅巡りは終了しました。

今回鹿沼のまちの駅を自転車で巡りながら沢山の方々に出会いお話をお聞きする中で、どの方からも鹿沼に対する強い愛を感じました。天候にも恵まれ、気持ちのよい風の中でサイクリングでき、参加者の方々にも楽しんでいただけました。

報告者 音地陽菜 (跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科2年)



ランチの駅「喜楽食堂」



生子神社の泣き相撲



屋台のまち中央公園資料館

5. 宮若なびの運用 & 第7回宮若まちの駅スタンプラリー2018

宮若市は、福岡市と北九州市の中間に位置する人口28,000人のまち。合併前の2005年に8駅で「若宮町まちの駅」の社会実験を行い、2006年6月に「宮若市まちの駅連絡協議会」を発足させました。現在は19のまちの駅で運営しています。トヨタ自動車九州工場もまちの駅の一員ですよ。

「宮若なび」は、宮若市の魅力を発信して地域振興を図るWEBサイト。本システムはまちの情報(施設情報やイベント情報等)をデータベースに登録し、一般のお客様に公開するものです。カテゴリー別に自分が行きたい所を検索し、オリジナルの観光ルートを作成する事も出来るシステムです。スマホで「宮若なび」を使って、市内のあちらこちらを巡ってみましょう!

また、10月1日より11月末日まで「第7回宮若まちの駅スタンプラリー2018」を開催中。ビンゴ形式のスタンプラリーで、景品は宮若市の特産品です。

詳細は、<https://www.city.miyawaka.lg.jp/kankou/kiji003446488/index.html> でご確認ください。



6. 「まちの駅 種子島シンポジウム」の開催報告

鹿児島まちの駅連絡協議会では10月17日に種子島中種子町で、鹿児島ブロック主催「まちの駅シンポジウム」を開催しました。菅井寛ブロック長の開催挨拶で始まり、鹿児島県熊毛支庁の竹内正広総務企画部長、中種子町の田淵川寿広町長の来賓挨拶の後、基調講話は(株)SOMESの上妻昇志 DMO 室長による「たねがしま DMO と今後の観光振興」について。次いで、鹿児島国道事務所の武藤聡所長から「国の公共基盤整備行政」と題して、種子島の国道58号線をはじめとする道路の活用、「道の駅」と「まちの駅」の違い、防災に関する道路の役割など。

後半は、南種子町地域おこし協力隊の服部節子さん、西之表観光協会の長野奈美さんを交えてパネルディスカッション。NPO さつまの橋口勝代表のコーディネートで「国道58号線が創る種子島の観光振興と地域活性化におけるまちの駅の役割」をテーマに議論し、専門的な話を含め中身の濃い意見交換になりました。ご出席いただきました皆様、中種子町の皆様、たいへんお世話になりました。交流会での美味しいお刺身は最高でした。(河井達志)



7. まちの駅でオリパラ応援 かすやまちの駅の『一駅一技』

粕屋町は福岡市に隣接し、博多駅までJRで10分、福岡空港まで車で10分の位置にありながら自然環境にも恵まれ、厚労省から全国一の人口伸び率（2010→2040で29.8%増）が示された人口4.7万人の町です。かすやまちの駅（粕屋町・志免町・久山町）では、粕屋町商工会が事務局となって29駅がネットワーク。その中で、全国で唯一高校がまちの駅になっている「県立福岡魁聖高等学校」では、フェンシング部が強く全国レベル。東京オリンピック日本代表を目指して頑張っているOB・OGもいます。

生徒たちが練習帰りなどによく食べに来るのがJR長者原駅のそばの「官兵衛うどん」、うどんの駅「あっかんべえ」です。名物は竹炭入りの「ブラックうどん」。うどんを打つのはアメリカ・ニュージャージー州出身のロブさんです。

かすやまちの駅では、『一駅一技』と称して、各まちの駅が好みの競技を応援する取り組みを始めています。「うどんの駅」はもちろんフェンシング。この取り組みは「東京2020応援プログラム」に申請し、認証を得たところです。今後、まちの駅からオリパラの応援種目や選手、世界記録やリオデジャネイロ大会の結果などを発信し、来訪者にオリパラをより身近に感じてもらい、競技を通じて来訪者とまちの駅との交流を促進します。(今泉重敏)

8. 「本庄まちの駅ソング」作りました

7月11日の「まちの駅運営幹事会」の中で、まちの駅がもっと元気くなるためにはどうするかを考えました。その際に、まちの駅ネットワーク本庄の阿奈正子代表が「みんなで歌を歌うと元気が出てくる」という提案をして、勢いそのままに「本庄まちの駅ソング」を完成させました。作詞作曲は本庄駅北口で居酒屋「ふじ久」を営む工藤雄司さん。「青春バンド CHELSEA」メンバーのお一人であり、本庄のゆるキャラ「はにぼん」のために「はにぼんの歌」を作った方でもあります。

歌詞は4番まであり、まちの駅全国大会 in 会津の中でお披露目する予定です。覚えやすい歌ですよ。

本庄まちの駅ソング

ちよつとしたふれあい
心と心を結び
ちよつとした絆が
大きな大きな輪になる
ネットワーク本庄まちの駅
ネットワーク本庄まちの駅
ネットワーク本庄まちの駅
ネットワーク本庄まちの駅

ちよつとした気遣いが
心の癒しになって
ちよつとしたおもてなし
大きな大きな和になる
ネットワーク本庄まちの駅
ネットワーク本庄まちの駅
ネットワーク本庄まちの駅
ネットワーク本庄まちの駅

予告 第22回「まちの駅全国大会 in 焼津」開催概要

平成31年度のまちの駅全国大会は、静岡県焼津市で開催します。焼津と言えば、3つの漁港を持つ水産業のまち、カツオもマグロも水揚げ量日本一を誇ります。ぜひとも皆様お越してください。

現在、まちの駅メンバーと行政とで連絡を取り合っており、皆様をお迎えするプログラムを検討中です。

開催日：平成31年10月4日（金）～5日（土） 会場：焼津市文化センター

新規まちの駅のご紹介 （平成30年4月から平成30年9月までの加盟駅）

都道府県	市町村	まちの駅名
宮城県		まちの駅ネットワーク加美
	加美町	・おしゃれの駅
	加美町	・酒の駅
	加美町	・花楽小路の駅
福島県		ネットワーク伊達
	伊達市	・まちの駅やながわ
		会津まちの駅
	西会津町	・まちの駅あったか温泉にしあいづ
	西会津町	・まちの駅 スポーツ公園さゆり
茨城県	笠間市	・まちの駅「笠間民芸の里」
		・郷土料理の駅
栃木県	鹿沼市	・鏡石まちの駅 かんかてらす
	鹿沼市	・まちの駅ネットワークかめま
埼玉県	本庄市	・SEYA NEWSSTAND
	本庄市	・豊かな心を育む駅
	本庄市	・まちの駅ネットワーク本庄
東京都	渋谷区	・豊夢サポーターズの駅
		・石窯ベーカリーの駅
		・新しい風が生まれる駅 母子草
新潟県	見附市	・まちの駅 CIファーム
	見附市	・まちの駅ネットワークみつけ
	見附市	・素肌づくりの駅
富山県	高岡市	・そば一筋の駅
	高岡市	・焼肉と韓国家庭料理の駅
	高岡市	・まちの駅ネットワーク高岡
長野県	須坂市	・交流とまちづくりの駅
	須坂市	・まちの駅 ネットワーク山町ヴァレー
	須坂市	・まちの駅ネットワーク信州須坂
静岡県	富士市	・江戸から昭和の生活を体験できる駅
大阪府	貝塚市	・あなたの街のでんきやさん
広島県	廿日市市	・のこぎり屋さんの駅
	廿日市市	・まちの駅 旅ば〜く
	廿日市市	・まちの駅 かいづか
	廿日市市	・まちの駅ネットワークはつかいち
広島県	廿日市市	・大頭神社
	廿日市市	・ヒト、もの、カネを繋ぐ駅
	廿日市市	・商売繁盛の駅
	廿日市市	・信頼と絆の駅

都道府県	市町村	まちの駅名
広島県	廿日市市	・プロバンスなホテルオーノデルーネ
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 中央
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 平良
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 原
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 宮内
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 地御前
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 佐方
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 阿品
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 串戸
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 阿品台
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 宮園
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 四季が丘
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 友和
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 津田
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 浅原
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 玖島
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 吉和
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 大野
	廿日市市	・集い・学び・つながる駅 大野西
廿日市市	・集い・学び・つながる駅 宮島	
廿日市市	・集い・学び・つながる駅 宮島杉之浦	
高知県	宿毛市	・宿毛まちの駅 林邸
福岡県	志免町	・かすやまちの駅ネットワーク
	志免町	・車のおいしゃさんがいる駅
	粕屋町	・パンの駅
	粕屋町	・技術でみらいを創る駅
	粕屋町	・オールシーズン絶景の駅
		・まちの駅「かすやこども館」

編集後記

今年にはまちの駅仮設実験から20周年です。まちの駅は、設置が目的ではなくあくまでも手段。ではまちの駅の目的は、というと、まちの賑わいだったり、暮らしの支え合いだったり、みんなの出番づくりだったり…。

各駅が小さな目的をいろいろ見つけ出して実現していけば、まちがどんどん楽しくなりそうです。（は）

全国まちの駅連絡協議会事務局

（NPO 法人地域交流センター内）

東京都千代田区東神田 1-7-10 KIビル 3F

TEL03-5823-4190/FAX03-5823-4191

